

コーングリッツの製造・販売を通して地域に貢献

株式会社N-GRITS(栗山町)



【組織等の概要】

- 業種：製造業、販売業
- 代表者：安孫子 俊之
- 主な出荷・販売先：飲料メーカー、お菓子メーカー
- 主な活動内容：純国産コーングリッツの製造・販売
- 連絡先TEL：(0123)73-7770

【コーングリッツとN-GRITS取扱い製品について】

- コーングリッツとは、乾燥させたとうもろこしの皮と胚芽を取り除いた胚乳部分を粉砕し粒状にしたもの。
- (株)N-GRITSでは、コーングリッツ以外にも、粒度の異なるものや胚乳部以外を加工し販売している。
- 茶、菓子、ビール、ウイスキー、シリアル、トルティージャなどに使われている。
- 最近では、ノンカフェイン飲料、グルテンフリー食品、幼児向け食品など市場向けの販売が伸びている。



【子実用とうもろこしとは】

- 子実用とうもろこしとは、完熟したとうもろこしの実を穀物として利用する作物。
- デントコーン、フリントコーン、ワキシーコーンがコーングリッツの原料となる。



【子実用とうもろこしの栽培効果】

①耕作放棄地の抑制

- ・JAそらち南管轄の子実用とうもろこし作付面積を拡大することにより、耕作放棄地の抑制に繋がった。

②輪作体系に組み込むことにより連作障害を解消

- ・秋まき小麦の収量が増加した。
- ・長ねぎやたまねぎなどの長期連作による収量・品質の低下傾向を改善した。

◇【取組の概要と経緯】

- ◆ 当事業開始時、北海道の水田地域では、米からの転作作物として小麦栽培が増加していた。
- ◆ 畑作の増加による連作障害が発生し、農作物の収量減少などが問題となっていた。
- ◆ 子実用とうもろこしを組み込んだ輪作体系に取り組むことで、小麦の収量・品質は大きく向上する。
- ◆ 飼料用のみではなく食用として販売することで生産者の収益が増え、地域経済にも貢献。
- ◆ 2008年 JAそらち南が子実用とうもろこしを導入した土づくりと適正輪作の推進に取り組む
- ◆ 2013年 道立総合研究機構中央農試との連携による、コーングリッツの製造と販売に係る食材化研究スタート
- ◆ 2016年 製造施設の完成、販売開始
※JA施設にて製造、販売開始
- ◆ 2018年 江別製粉(株)と協業開始し、株式会社N-GRITSがコーングリッツ事業を継承
- ◆ 2021年 N-GRITS 設立(製造施設の着工)
- ◆ 2022年 マルチコーン生産振興会設立
N-GRITSにて製造・販売開始

【今後の展望】

- 現在は残さとして処理している副産物の子実用とうもろこしの芯や髭などを有効利用していきたい。芯や髭については、食品以外にも活用するため、他企業等と協議を行っている。
- 生産者からなるべく高い値段で子実用とうもろこしを買い取り、生産者の手取りを増やせるようにしていきたい。
- 地域の方々に、ご賞味いただけるよう飲食店との連携やイベント参画などで当地域における地産地消の一助となれればと考えている。